

環境報告書

2018年度

活動期間

平成30年 4月～平成31年 3月

発行日 : 2019年 7月20日

見直し改定日:2019年 9月21日

有限会社 勝川木材

1. 組織概要

- (1) 会社名 有限会社 勝川木材
(2) 所在地 本社 三重県三重郡菟野町大字杉谷2365-18
工場 三重県三重郡菟野町大字杉谷2296-1
(3) 事業内容 林業
産業廃棄物収集運搬業(三重県・愛知県・岐阜県・滋賀県)
産業廃棄物処理業(中間処理)
建設業
(4) 代表者氏名 代表取締役 勝川卓也
(5) 資本金 1000万円
(6) 組織人数 16名(正社員)
(7) 売上高 470,782,358円 平成30年7月決算
(8) 敷地面積 本社1547平方メートル 工場3067平方メートル
(9) 延べ床面積 本社99平方メートル 工場128平方メートル
(10) 沿革
平成09年02月 三重県三重郡菟野町に有限会社勝川木材を設立
資本金300万円、林業を開始。
平成15年12月 三重県において産業廃棄物処理業の許可を取得。
平成16年11月 三重県において産業廃棄物収集運搬業の許可を取得。
平成24年02月 岐阜県において産業廃棄物収集運搬業の許可を取得。
平成24年03月 愛知県において産業廃棄物収集運搬業の許可を取得。
平成25年05月 代表取締役の変更、勝川卓也就任
平成26年04月 三重県三重郡菟野町にリサイクル施設新設、
木くず処理能力144t/日。
平成28年10月 資本金1000万円に増資。
平成29年04月 リサイクル施設の処理施設設置許可変更
処理能力増量480t/日。
平成29年12月 M-EMS ステップ2W認証
平成30年02月 EA21相互認証
平成30年12月 三重県において産業廃棄物収集運搬業の優良認定を取得。
平成30年12月 三重県において産業廃棄物処分業の優良認定を取得。
平成31年01月 三重県において建設業の許可を取得。
平成31年01月 滋賀県において産業廃棄物収集運搬業の許可を取得。

(11) 産業廃棄物収集運搬業許可一覧とその内容

① 産業廃棄物収集運搬業許可一覧

・産業廃棄物収集運搬業許可(三重県) 優良認定

許可番号 第02402108491号
許可の年月日 平成30年12月26日
許可の有効年月日 平成37年12月25日(令和7年12月25日)
事業の範囲 【積替え・保管を除く】:木くず 1種類

・産業廃棄物収集運搬業許可(岐阜県)

許可番号 第02100108491号
許可の年月日 平成29年2月1日
許可の有効年月日 平成34年1月31日(令和4年1月31日)
事業の範囲 【積替え・保管を除く】:木くず 1種類

・産業廃棄物収集運搬業許可(愛知県)

許可番号 第02300108491号
 許可の年月日 平成29年3月13日
 許可の有効年月日 平成34年3月12日(令和4年3月12日)
 事業の範囲 【積替え・保管を除く】:木くず 1種類

・産業廃棄物収集運搬業許可(滋賀県)

許可番号 第02501108491号
 許可の年月日 平成31年1月17日
 許可の有効年月日 平成36年1月16日(令和6年1月16日)
 事業の範囲 【積替え・保管を除く】:木くず 1種類

②産業廃棄物収集運搬業施設の状況

・収集運搬車両種類と台数

令和1年7月20日現在

号車	自動車登録番号	車体の形状	最大積載量(kg)	備考
1	三重11ら6337	キャブオーバ	6,200	
2	三重100は3058	ダンプ	7,200	
3	三重400つ7683	ダンプ	3,000	
4	三重100は4286	ダンプ	9,900	
5	三重130さ4287	脱着装置付き コンテナ専用車	10,500	
6	三重480こ3751	キャブオーバ	350	
7	三重130さ4288	脱着装置付き コンテナ専用車	10,200	
8	三重130す4289	脱着装置付き コンテナ専用車	11,800	
9	三重130さ4285	キャブオーバ	12,000	
10	三重130さ4291	脱着装置付き コンテナ専用車	10,900	
11	三重430さ4292	ダンプ	1,900	
12	三重130さ4293	キャブオーバ	9,000	平成30年9月3日 産業廃棄物収集運搬車両登録
13	三重130さ4294	トラクタ	38,890	平成31年4月2日 産業廃棄物収集運搬車両登録
14	三重130す4294	セミトレーラ	28,400	平成31年4月2日 産業廃棄物収集運搬車両登録

・産業廃棄物の収集運搬料金 積載状態等距離により、都度見積を行う

③産業廃棄物収集運搬業の実績

・収集運搬実績

平成28年4月～平成29年3月 7,480 トン
 平成29年4月～平成30年3月 12,345 トン
 平成30年4月～平成31年3月 8,681トン

(12) 産業廃棄物処理業許可一覧とその内容

①産業廃棄物処理業許可一覧

・産業廃棄物処分量許可(三重県) 優良認定

許可番号 第02422108491号
 許可の年月日 平成30年12月26日
 許可の有効年月日 平成37年12月23日(令和7年12月23日)
 事業の範囲 【中間処理】 破碎:木くず 1種類

・事業の用に供するすべての施設

施設の種類	設置場所	設置年月日	処理能力	許可年月日	許可番号
破碎施設	三重県三重郡菟野町大字杉谷黒石原 2296番地1の一部	H29.4.25	木くず:480t/日(8h)	H29.4.17	28四地防 第1016号の7

・再生施設の認定(三重県)

認定番号 四地防 第1028号の2
 認定年月日 平成31年3月15日
 認定期間 平成31年4月1日から令和2年3月31日まで

② 産業廃棄物処理業施設の状況

・産業廃棄物の処理工程 別紙 有限会社 勝川木材 処理工程表 令和1年7月現在
 ・産業廃棄物の処理料金 廃棄物の状態、発生場所確認後、都度見積を行う

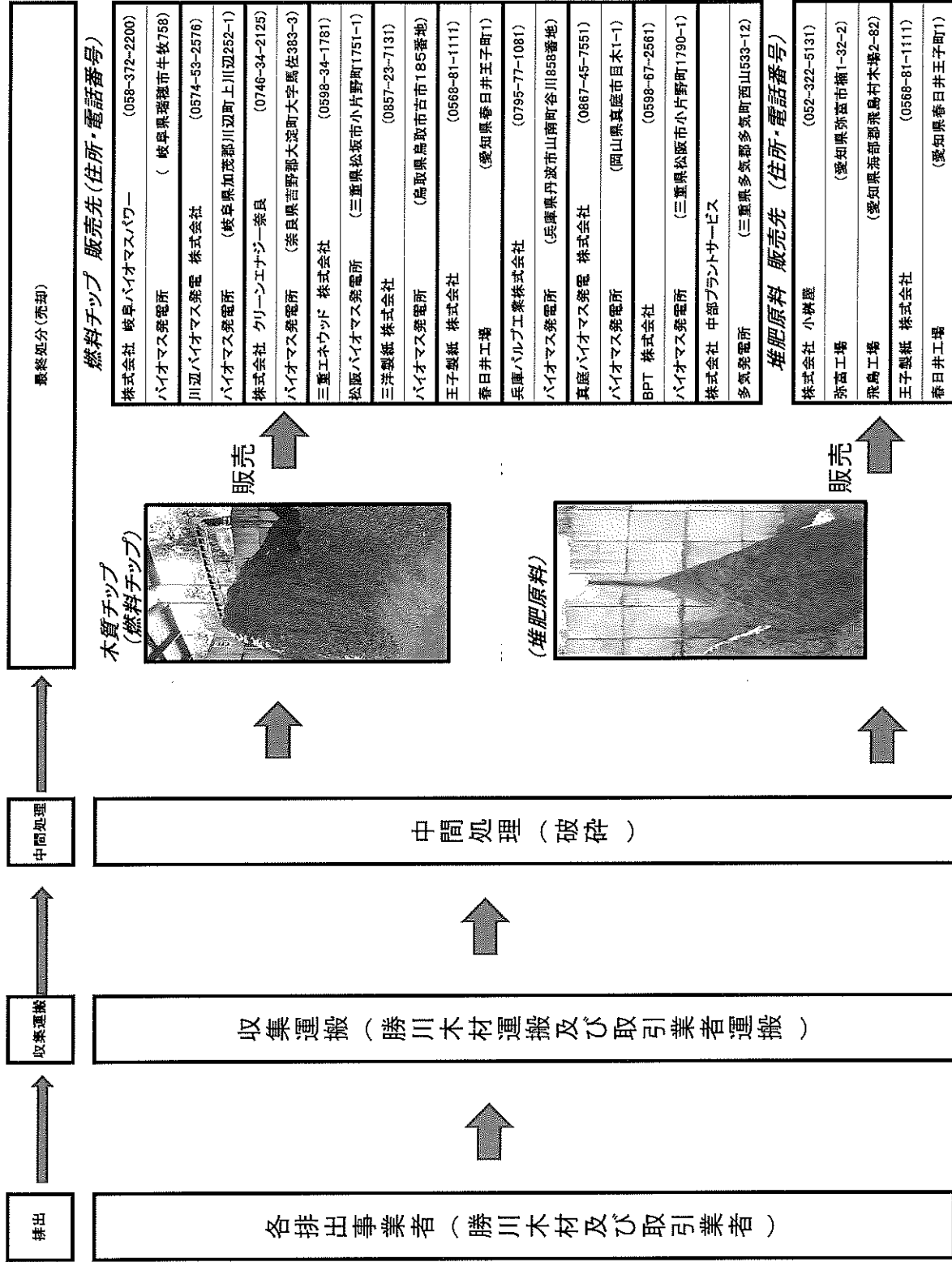
③ 産業廃棄物処理業の実績

・処理実績(収集運搬+持込分)
 平成28年4月～平成29年3月 7,904 トン
 平成29年4月～平成30年3月 13,050 トン
 平成30年4月～平成31年3月 11,858トン

・産業廃棄物処理施設の処理実績

	産業廃棄物処理業分			自社分 トン	処理量 (合計)
	収集運搬量トン	持込量トン	小計		
H28年度	7,480	424	7,904	2,695	10,599
H29年度	12,345	705	13,050	933	13,983
H30年度	8,681	3,177	11,858	3,626	15,484

別紙 有限会社 勝川木材 処理工程表 令和1年7月現在



産業廃棄物 処理実績表 (H30年度)

有限会社勝川木材

(単位: t)

実績期間 : H30年4月 ~ H31年3月

収集運搬

種類	収集運搬量
木くず	8,681

その他

持込分	3,177
自社材木処理分	3,626

破碎・分別処理

中間処理	15,484
------	--------

リサイクルへ	15,484
--------	--------

内訳(最終処分方法)

発電所燃料 へ	10,209
堆肥原料 へ	5,275

総計 15,484

総計 15,484

総計 15,484

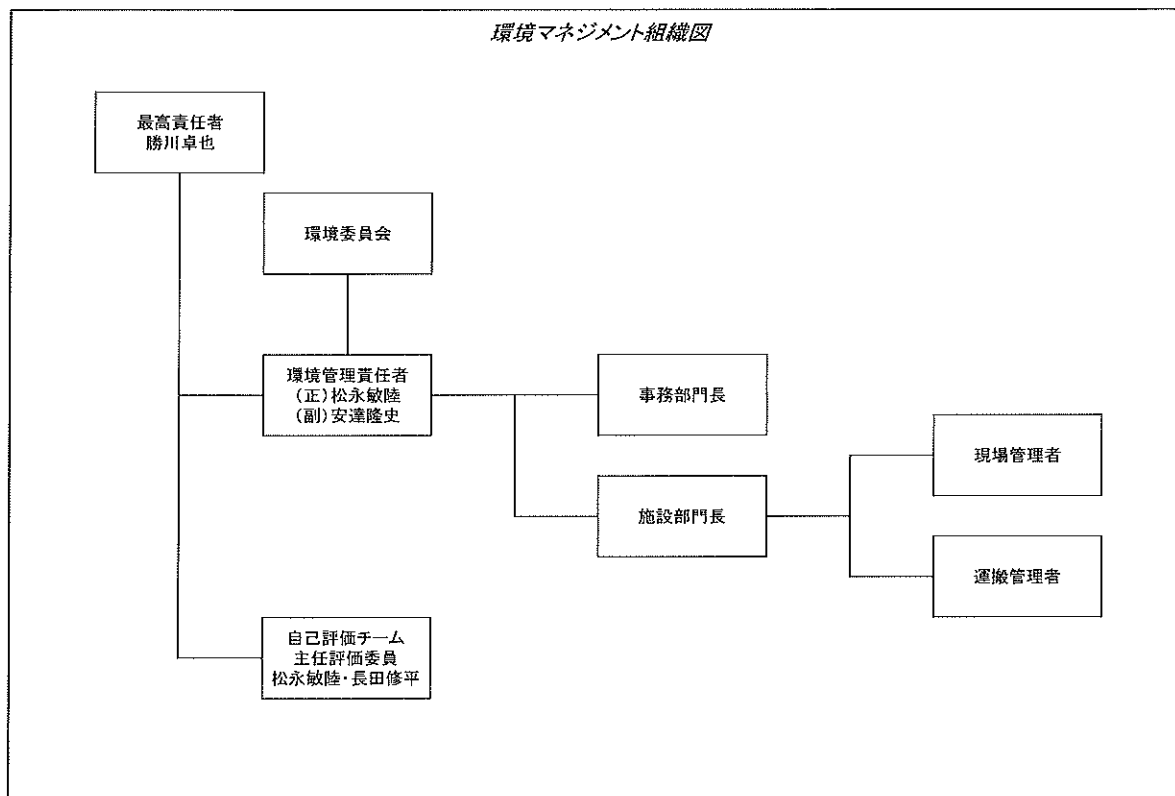
* 上記以外の種類別の実績量がある場合は、その種類と量を追記すること。

注)

- ①各工程の処理量総計(収集運搬・中間処理・最終処分量)を整合させること。また環境レポートの数値と整合していること。
- ②上記数値は、県報告の産廃実績と整合していること。なお、県報告の種類別産廃実績表も添付すること。

(この帳票に廃棄物の種類別処理実績を記入するとともに、県報告の種類別産廃実績表のコピーを添付すること)

(13) 環境活動の取り組み体制



2. 登録対象

(1) 登録内容

M-EMS登録証
登録日 2017年12月1日
登録期限 2020年11月30日
登録番号 M-EMS2W-0016 KES2W-5-0016

(2) 登録範囲

産業廃棄物の収集運搬及び、産業廃棄物の処分(中間処理)

(2) 登録範囲

本社・事務所 三重県三重郡菟野町大字杉谷2365-18
中間処理施設 三重県三重郡菟野町大字杉谷2296-1

環 境 宣 言

基本理念

有限会社 勝川木材は、地球環境の保全が人類共通の最重要課題の一つであることを認識し、全組織を挙げて環境負荷の低減及び環境保護に努力します。

方 針

有限会社 勝川木材は、産業廃棄物の収集業務、産業廃棄物中間処理業務に係る全ての活動、製品及びサービスの環境負荷を改善するために、次の方針に基づき環境マネジメント活動を推進して地球環境との調和を目指します。

1. 当社の活動、製品及びサービスに係る環境影響を常に認識し、環境汚染の予防及び環境保護を推進するとともに、環境マネジメント活動の継続的改善を図ります。
なお環境保護には、持続可能な資源の利用、気候変動の緩和及び気候変動への適応、並びに生物多様性及び生態系の保護などを含みます。
2. 当社の活動、製品及びサービスに係わる環境関連の法的及びその他の要求事項を順守します。
3. 当社の活動、製品及びサービスに係る環境影響のうち、以下の項目を環境管理重点テーマとして取り組みます。
 - (1) 木質バイオマス発電への貢献
 - (2) 廃棄物適正処理の推進（分別方法の指導・提案）
 - (3) 工場・事務所 電力の使用効率改善
 - (4) トラック・重機 燃料の使用効率改善
 - (5) 事業所周辺の清掃活動
4. 一人ひとりが環境負荷低減活動及び環境保護を積極的に実践できるように、この環境宣言を組織の全員に周知するとともに一般の人々が入手できるようにします。
5. 三重県および菰野町の環境改善活動に積極的に参画します。

上記の方針達成のために、環境改善目標を設定するとともに、定期的に見直し環境マネジメントシステムを推進します。

制定日2017年 1月10日

改訂日2018年 4月 1日

有限会社 勝川木材
代表取締役 勝川卓也

4. 環境改善目標

-3年間のCO₂削減計画及び実績
(基準年度:2016年度)

No.	環境改善目標		単位	基準年度 2016年度実績		目標値・実績		
						2017年度	2018年度	2019年度
1	木質バイオマス発電所への 売却出荷量増量 (2019年度:3%増量)	木質バイオマス発電所への 売却出荷量	t	6,900	目標	1%増量 (6,969)	2%増量 (7,038)	3%増量 (7,107)
					実績	10,040	10,210	
2	産業廃棄物適正処理分別方法の 提案・指導件数向上 (2019年度:30%増量)	分別方法の提案・指導件数	件	30	目標	10%向上 (33)	20%向上 (36)	30%向上 (39)
					実績	35	36	
3	工場・事務所 電力使用量の削減 (2019年度: 材木処理量1トン あたりの使用電力 3%減)	木質燃料生産1トン あたりの使用電気	kWh/t	1.43	目標	1%減	2%減	3%減
					実績		1.40	1.39
		電力使用量	kWh	15,136	実績	18,190	20,706	
		二酸化炭素排出量	kg-CO ₂ /年	7,704	目標	7,627	7,550	7,473
				実績	9,258	10,539		
4-1	重機燃料(軽油) 使用量の削減 (2019年度: 材木処理量1トン あたりの使用燃料 5%減)	木質燃料生産1トン あたりの使用燃料	ℓ/t	17.34	目標	1%減	3%減	5%減
					実績		16.82	16.47
		燃料使用量	ℓ	183,738	実績	175,820	215,304	
		二酸化炭素排出量	kg-CO ₂ /年	474,045	目標	469,302	459,823	450,342
				実績	453,616	555,484		
4-2	トラック燃料(軽油) 使用量の削減 (2019年度: 材木処理量1トン あたりの使用燃料 5%減)	木質燃料生産1トン あたりの使用燃料	ℓ/t	6.75	目標	1%減	3%減	5%減
					実績		6.55	6.41
		燃料使用量	ℓ	71,595	実績	77,056	61,459	
		二酸化炭素排出量	kg-CO ₂ /年	184,715	目標	182,868	179,173	175,479
				実績	198,804	158,564		
5	工場・本社 周辺の清掃	清掃回数	回	12	目標	12	12	12
					実績	12	12	

項目	単位	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
材木処理量	t	10,599	13,983	15,484	

二酸化炭素排出量 (電力+軽油(重機+トラック))	kg-CO ₂ /年	666,464	目標	659,797	646,546	633,294
			実績	661,678	724,587	

二酸化炭素削減量 (電力+軽油(重機+トラック))	kg-CO ₂ /年	-	目標	6,667	19,918	33,170
			実績	4,786	58,123増	

※2018年度より、電力使用量削減を環境改善目標に含める。

※2018年度より、重機・トラック燃料は削減目標を材木処理量1トンあたりの使用量に変更する。

排出係数: 軽油2.58kg-CO₂/ℓ 電力0.509kg-CO₂/kWh 出典:2014年(H26年)環境省より

- ① 総排出量(水の使用量)は、生活排水のみのため改善目標から除外したが、管理項目として取り上げ、節水を心がけ、その削減に努めていく。
なお、処理工場で使用する洗車等の水は井戸水を使用している。
- ② グリーン購入においては、事務用品をメインに購入品目の増量に努める。
- ③ 化学物質においては、その使用実績がありません。

5. 環境改善目標と実績

2018年度 環境改善活動実績 (基準年度:2016年度)

No.	環境改善目標	具体的施策	項目	単位	目標値	実績値	評価
1	木質バイオマス発電所への売却出荷量増量 (基準年度:2%増量)	・発電所への安定供給管理 ・木質チップの製品管理 ・木質バイオマス証明認定事業者維持	売却出荷量	t/年	7,038	10,210	A
					2%増量	48%増量	
2	産業廃棄物適正処理分別方法の提案・指導件数向上 (基準年度:20%増量)	・分別の徹底 ・分別方法の向上 ・指導件数、訪問件数増件推進	指導件数	件/年	36	36	A
					20%向上	20%向上	
3	工場・事務所 電力使用量の削減 (基準年度:材木処理量1トンあたりの使用電力2%減)	・事務所のエアコン、照明の使用頻度の改善 ・工場ベルトコンベアーから回しのストップ ・不要時間の消灯、節電の徹底	材木処理量1トンあたりの使用電気	kWh/t	1.40	1.34	A
			電力使用量	kWh/年	14,833	20,706	
			CO ₂ 排出量	kg-CO ₂ /年	7,550	10,539	
4-1	重機燃料(軽油) 使用量の削減 (基準年度:材木処理量1トンあたりの使用燃料3%減)	・アイドリングストップの実施 ・使用前点検の実施 ・エコドライブ推進	材木処理量1トンあたりの使用燃料	ℓ/t	16.82	13.90	A
			燃料使用量	ℓ/年	178,226	215,304	
			CO ₂ 排出量	kg-CO ₂ /年	459,823	555,484	
4-2	トラック燃料(軽油) 使用量の削減 (基準年度:材木処理量1トンあたりの使用燃料3%減)	・アイドリングストップの実施 ・使用前点検の実施 ・エコドライブ推進	材木処理量1トンあたりの使用燃料	ℓ/t	6.55	3.97	A
			燃料使用量	ℓ/年	69,447	61,459	
			CO ₂ 排出量	kg-CO ₂ /年	179,173	158,564	
5	工場・本社 周辺の清掃	・全員参加での清掃活動	清掃回数	回	12	12	A

材木処理量	t	15,484
-------	---	--------

評価記号 A:良好(100%以上) B:やや不足(90~100%以上) C:不適合(90%以下)

排出係数 : 軽油:2.58kg-CO₂/ℓ 電力(中部電力):0.509kg-CO₂/kWh 出典:2014年(H26年)環境省より

管理項目での実績

No.	管理項目での実績	具体的施策	項目	単位	目標値 (2018年度)	実績値		
						2017年度	2018年度	2019年度
1	水の使用料削減	水の出しっぱなしの排除	水の使用量	m ³ /年	52	52	48	
2	グリーン購入	エコ商品カタログの活用	購入品目	種類/購入数/年	43/59	35/49	49/87	
3	自社廃棄物	分別の徹底・廃棄物の再利用	廃棄量	t	1.4	1.4	1.2	

		目標	実績値	削減量
二酸化炭素総排出量 (軽油+電力分)	kg-CO ₂ /年	646,546	724,587	78,041増

5-1 具体的環境活動の評価

- ・木質バイオマス発電所への売却出荷量増量
出荷先であるバイオマス発電所の定期点検が重なり、受入停止により目標未達となる月もあったが、年間を通しておおむね増量することができた。
- ・産業廃棄物適正処理分別方法の提案・指導件数 向上
バイオマスボイラー発電所が定着してきている、引き続き提案指導に努める。
- ・工場、事務所 電力の使用量削減
事務所のエアコン使用量が猛暑と熱中症対策等で、使用量が増えるなど、夏季と冬季で目標未達となった。
- ・重機、トラック燃料(軽油)使用量の削減
チップ出荷量が増量しており、重機の燃料使用量が増加しているものの、材木処理量1tあたりに換算すると目標は達成している。
- ・工場・本社 周辺の清掃
毎月定期清掃となっており、清掃活動を継続する。
- ・水の使用量は工場は全て井戸水使用、本社事務所の使用のみとなるため、節水で使用し、管理項目で管理する。
- ・グリーン購入では、事務用品メインですが、購入種類、購入数ともに増加しており、努めてエコ商品を購入するようにしている。
- ・二酸化炭素総排出量は材木処理量の増加に伴い、増加している。
- ・自社廃棄物は廃プラスチックが年間1.2t、一般ごみで月2m³程度です。分別して排出量の削減に努めます。

5-2 2019年度活動についての今後の課題

- ・前年度は、電気使用量削減において、季節によって使用量が大幅に増加してしまいました。熱中症対策などどうしても使用しなければならない部分はありますが、できる限り削減できるよう努力していかなければならない。
- ・前年度、二酸化炭素総排出量が増加してしまいました。これは、材木処理量が増加していることに起因しています。但し、原単位換算としている環境改善目標値はクリアしています。今後は、総排出量としても削減できるよう努力していく。

6. 環境関連法規の順守状況

- ・環境関連法規については、適正に順守され、チェックされており、違反等はありません。関係機関等からの指摘・苦情・起訴はありません。

7. 代表者による全体の評価見直し結果

7-1 全体評価

- ・システム、活動ともに、無理なくスムーズに行われている。
環境負荷軽減については、まだまだできるところがあるので、引き続き、環境負荷軽減が数字に出るように努力してください。

7-2 見直し評価

- ・環境宣言の必要性:なし
- ・システム等変更の必要性:なし

8.コミュニケーション



平成30年8月25日
菰野町で行われる木-1グランプリ
本年度3回目
会場整備、きのぼりの安全対策設備等を行います。



平成30年12月8日
伊勢神宮篝火資材の奉納
平成3年～毎年12月8日事納に丸太奉納
本年度も奉納予定しています。